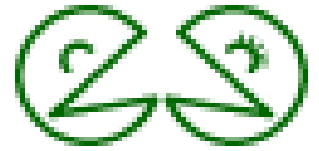




日本笑い学会関東支部第295回オンライン研究会



「ぼやき」のユーモア

～生きることのままならなさを愛しむ～

【講演概要】

次々と立ち現れる人生の難事に面し、「なんでやねん」、「やってられんわ」と私たちは渋い顔でぼやくが、根本的な解決など端からない。ないままに「難儀やなあ」と口にし続けることは「愚かしく」、「滑稽」だが、それを知りつつ、私たちはなおもぼやく。ぼやくことは、「生まれてきたこと」と「死んでいくこと」に挟まれた人生の如何ともし難い「訳のわからなさ」、「ままならなさ」をむしろ深くとおしむことなのかもしれない。

【講師紹介】

京都市生まれ。京都大学大学院教育学研究科博士後期課程学修認定退学。
立命館大学文学部特任教授。
日本笑い学会副会長。
専門は、物語論的視点にたつ「笑い」と「かなしみ」の人間学的研究。

人生を物語ることは魅力的ですが、語りが常套句に塗れるとき、生き方は「物語」に縛られます。そうした人生の硬直化を揺さぶり、緩めるのが「笑い」です。そして「かなしみ」は、「人生の語りきれなさ」を語り続ける力の源泉となる感情です。



講師：鳶野 克己 氏

(立命館大学・特任教授
／日本笑い学会・副会長)

2021年6月27日(日)

講演 14:30～16:30

Zoom入場は 14:15～

※新型コロナウイルス感染拡大に伴い、会場参加は中止とし、Zoomによるオンライン参加のみとなりました。

コロナ対策のため事前申し込み制
会員無料

(非会員は参加費 1000円)

(ただし非会員の学生は無料)

申し込み方法：お名前・会員番号
(非会員の方は「非会員」、学生の方は学校名)を記載し、
メールにて申込み下さい。

主催：日本笑い学会関東支部

問合せ・申込先：un_ei-01@warai-kanto-0808.org

ホームページ：http://www.warai-kanto-0808.org/